

被災地支援活動応援金による活動記録

平成23年

- 4月～東松島市瓦礫撤去ボランティアバスバック（3回）
- 6月 壁掛け時計（市内業者寄付）を岩手県陸前高田市へ寄贈
- 7月 しんきゅう師・マッサージ師・保健師による東松島市での健康サポート支援、リサイクル自転車を福島県二本松市に避難している同県浪江町に寄贈
- 8月 リサイクル自転車を岩手県花巻市へ寄贈
- 9月 消防車両を東松島市へ寄贈
- 10月～「被災地の子どもたちに遊びと笑顔を」プロジェクトで東松島市に遊び、おもちゃ、絵本などを届ける（7回）

平成24年

- 3月 富士見市歯科医師会による東松島市での歯科衛生など健康支援
- 5月～富士見市に避難している方のための「お茶っこ交流会」開催（12回）
- 9月 西みずほ台・針ヶ谷地区、水谷東地区社会福祉協議会が東松島市仮設住宅でボランティア活動
- 10月 みずほ台地区民生委員・児童委員協議会が東松島市仮設住宅でボランティア活動
- 11月 東松島市長を招いて「防災シンポジウム」を開催

平成25年

- 3月 NPO法人ふじみっこ・夢みらいが東松島市仮設住宅でボランティア活動
- 6月～社会福祉法人ふじみ野福社会が東松島市仮設住宅でボランティア活動（2回）
- 8月 鶴小ニュースキャヤーズが東松島市復興記念少年野球大会に参加
- 10月 富士見市食生活改善推進員協議会が東松島市仮設住宅でボランティア活動

平成26年

- 1月 富士見市東中学校体育館で、富士見市・東松島市ジュニアバレーボール交流事業
 - 2月～東日本大震災復興支援ボランティア「えがお富士見」が東松島市仮設住宅でボランティア活動（2回）
- ※詳しくは、市ホームページの東日本大震災関連情報をご覧ください。

義援金・被災地支援活動応援金の報告とお願い 義援金の累計

37,921,427円（H26.9.26現在）

義援金は日本赤十字社を通じて被災地に送金しています。募金箱は市役所や公共施設12か所に設置しています。

被災地支援活動応援金の累計

7,074,029円（H26.11.17現在）

応援金はボランティア活動などに活用しています。福祉課で受け付けています。

義援金および応援金とも、引き続きご協力をお願いします。

東日本大震災被災地支援活動のご報告

～さらなる復興のために～

問合せ／安心安全課 ☎445

平成23年3月11日午後2時46分、千年に1度と言われる巨大地震が発生し、東北地方を中心に、太平洋沿岸部に甚大な被害をもたらしました。富士見市では直ちに特別対策本部を設置し、被災地の一日も早い復興を願って、「被災地支援活動応援金」を創設し、市民の皆さんへ呼びかけをしました。その結果、多くの方に賛同をいただき、ボランティア派遣などさまざまな支援活動の資金として活用させていただきます。ありがとうございます。

市民の皆さんには、寄付やボランティア活動など、さまざまなご支援に深く御礼申し上げます。被災地の復興には、まだまだ支援が必要です。引き続きのご支援・ご協力をお願いします。



市は、被災地に寄り添いながら支援活動を継続してまいります。

平成24年5月14日 宮城県東松島市と災害時相互支援協定を締結

東松島市では死者、行方不明者が1千100人を超え、家屋被害も甚大で、仮設住宅に約1千800世帯の方が暮らしています（平成27年1月現在）。現在では、少しずつ災害公営住宅が完成し、入居も始まっていますが、今後、防潮堤の建設や住宅の高台移転が必要など、復興にはさらに時間がかかる見通しです。富士見

被災地の現状と課題



東松島市鳴瀬サポートセンター所長 片岡君江さん

震災の年に、被災した方の心のケアなどの支援活動をするために、サポートセンターが設置されました。

震災3年後の4月ようやく、災害公営住宅への一部入居が始まりましたが、入居先で地域の交流が生まれなければ、安住の地とはなりません。そのため、お茶会、サロンなどで絆づくりをしています。

一方仮設住宅に残る方たちは、取り残された思いと、先行きへの不安を抱えてしまう方もおり、心のケアが一層大切になっていきます。富士見市の皆さんには、震災直後からボランティア活動を継続し、被災者の心の支援、コミュニティ作りで絶大な協力をしていただき、とても感謝しています。

被災した皆さんは今後、仮設住宅から「自分の家」へと生活環境が変わります。サポートセンターは被災した方に寄り添って明るい気持ちで日々暮らせるよう支援活動を続けてまいりますので、今後ともご支援をよろしく申し上げます。